

なんか

やってま〜す

ナンバー 005

発行 平成22年7月

発行元 坂井市社会福祉協議会

坂井市社協福祉委員幹事会



～福祉委員情報紙～



ある日の様子

5月30日に、三乃部地区合同いきいきサロンを区長、民生委員、福祉委員の皆様のご協力により開催しました。

食育をテーマに、野菜を栄養価と密接な関係がある色に分け展示したり、健康を維持する食育のあり方を寸劇と歌にのせて分かりやすく表現しました。また、こころの健康を図るイベントでは、小学生の読み聞かせ・祭りの囃子方・琴の演奏・視覚障がい者の方の電子楽器の演奏と歌など大いに盛り上がりました。天候にも恵まれスタッフをあわせて200人の心が



同じ目的に向かって一体となったことにとっても感動しました。

高齢者の孤独や孤立が社会問題になっている今、私たちが少しでも住み慣れた地域で笑顔で生活し続けられるよう、今後も努力したいと思います。



～三国町三乃部地区福祉の会の説明～

三乃部地区ふくしの会は、全12地区、約800世帯で昭和54年に設置され、福祉委員は現在21名います。えちぜん鉄道の三国駅前通りや北前通りを中心に、昔ながらのまちづくりに取り組んでいます。いきいきサロンは合同で年1回。その他各地でも開催しています。

福祉委員 西尾榮子さん(丸岡町)に 聞いてきたぞ～

「高椋西部ふくしの会」が発足して10年目。利用者の拡大を図るきっかけとして、地域の方々に「公開サロン」の実施を呼びかけたところ、たくさんの方に参加していただきました。歌・踊り・漫談・手品・サクソフーンと、盛りだくさんの演技に笑顔と拍手のひとときでした。

この笑顔が、サロンやふれあいクラブの利用につながり、地域の方のふれあいの場所としておおいに活用していただきたいと願った一日でした。

コメント

福祉委員3年目。1年目は勉強、2年目からサロンを立ち上げ、年6回のペースで実施しています。

春江町中筋三ツ屋は、旧集落に新しく入った区民が入り混じった集落で、特に高齢者の集落への溶け込みが難しいと考え、道端で立ち話のできる関係づくりが大切だと思っています。

春江町 牧野 俊行

訪問販売に注意!! 消防署は訪問による販売はいたしません。

幹事さんに まいてみよう



《キーワード》
学び

福祉委員の皆様、これから2年間よろしくお願いします。福祉委員活動は単に地域の人のためではなく、自身の学びにもつながっているようです。



福祉委員になったけど、福祉委員活動を通して、どんなことが学べたり身に付いたりするんだろう？

福祉委員という役をもらったことで、地域に対して関心を持つようになりました。自らあいさつや声かけをするなど、地域の人たちとふれあうことも意識しています。たくさんの地域の人と知り合いになることができ、普段の生活にもプラスになっています。



地域のなかで情報を共有しながら、地域づくり（地域の人と人をつなげること）に努めています。もちろん、情報は提供するだけでなくもらうこともあります。福祉に限らずさまざまな情報が入ってくることで、地域のことがこれまで以上に分かるようになりました。

災害時要援護者など、地域のなかの「気になる人」に対して関心を持つようになりました。さりげない見守り・気配りを心がけることで、一人の人間としての成長も感じています。

地域やそこに住む人たちのために活動することは、自分自身のためにもなります。福祉委員とその活動を今後さらに広めていきたいと考えています。



社 協 情 報

掲載等のお問い合わせは

みくに支部	Tel	82-1170
	Fax	82-1593
まるおか支部	Tel	68-5060
	Fax	67-2950
はるえ支部	Tel	51-4545
	Fax	51-6269
さかい支部	Tel	67-0640
	Fax	67-2807

坂井町 伊藤 浩

「いつもと様子がおかしい」「いつもは消えているはずの電気が、つけっぱなし。一人暮らしのおばあちゃんを外から呼んでも応答なし。すくさま、おばあちゃんの親戚へ連絡。その結果、大事に至る前に病院へ。実は、様子の変化に気づいたご婦人は、常日頃からおばあちゃんに声をかけていたので、生活のリズムも分かっていた。電気が消えているはずの時間に電気がついていることにも気づきました。また、どこにご親戚がいるかも会話の中で聞いていました。

普段の生活の中での近所付き合いが、見守りそのもの。人間関係の回復が今こそ求められます。